

小学生対象の公開実験『くだもの電池を作ってみよう』を開催しました。

8月5日（日）女性研究者連携協議会（パールネットみえ）と三重大学保健体育科学生は三重県総合文化センター フレンテみえ M 祭 において小学生低学年を対象に「テクノガールのカガク工房：女性の研究者と不思議な工作をしよう：わたしも ぼくも研究者！」をテーマに『くだもの電池を作ってみよう』の公開実験をおこないました。1回40名定員で午前、午後合わせて6回実施し多数の小学生と保護者が訪れ定員オーバーとなった。

第1回目は鈴鹿高専の山本先生、三重大学の宇野先生から、くだもの電池のやさしい説明があり、8グループのそれぞれの女性研究者の指導により始まった。

参加者の小学生、保護者からは、オルゴールが鳴り始めると「えっ！くだものから電気ができるとは！」とびっくりした様子で取り組んでいました。

女性研究者連携協議会（パールネットみえ）は四日市大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、三重大学（幹事）、野菜茶業研究所、増養殖研究所、三重県保健環境研究所、三重県工業研究所、三重県農業研究所、三重県水産研究所11機関の女性研究者により構成されています。

